

平成 20 年 9 月 15 日 AM 1:21 第一子 長男誕生 3750g

①

私が中嶋助産院で赤ちゃんを産もうと考えたのは、姓娠前の去年(2007年)の夏のことです。ある本を読んで赤ちゃんを産む、自ら自分たちの力で産める自然なお産がいい!!と思ったからです。でもこの会津にそんな産院ってあるのかな、どういってお産を理解してくる助産師さんはいるのかなと不安に思いながら探していました。そんなとき、たまたま見つけたインターネットの「日本助産師会」のサイトに住所が南会津の助産院を見つけました。私は隣町の下郷なので、こんなに近くにあるの?と興奮して中嶋助産院のHPを見つめました。セックを基調とした優しい雰囲気、七十の孕芸、その康乃先生、智子さんの写真に「産ませてもらいお産から産むお産人」を読み「お産!!」と思い、産んだ方の体験を読んで「わたし夫婦に赤ちゃんが出来たら絶対ここで産みたい!!ここで産もう!!」と心に決めたのです。

また姓娠もしていない私でしたが、いつもたっもいらしたくなり見学をさせて頂きました。清潔で明るい院内と、康乃先生の優しく真摯な対応、病棟の分母台じゃないフリースタイル用の分娩室に感動し赤ちゃんが私たちの所に来たくらいの心算にっていました。赤ちゃんはこの場所で会いたいと思いがちです。

年々明けた1月、姓娠が分かった。康乃先生に紹介された若松市のあけみレディースクリニックで出産間近までの産健診をして頂きました。こちらのクリニックの先生も、初めての姓娠でいろいろな不安がある私に丁寧に分かりやすく

「赤ちゃんはけ、こう強くて子宮にしがみついても育つまたりするんですよ。1人2人は大丈夫ですよ。」ととても安心できる説明や、話し方で、クリニックの雰囲気も良く、毎回、お腹の赤ちゃんを本当に宝物に思える、寧ろな健診でした。

長々とすみません... ここからやるとお産についてです。

(2)

予定日は、9月15日満月の日でしたが、9月12日の夜中、軽い生理痛のような痛みとまじりしがありました。

9月13日の朝10時ごろ痛みが10分間かかるといって来たので午後2時ごろ一度診察して頂くと子宮口は2cm。

まだ時間がかかるので一度帰宅しお風呂に入りました。夜10時ごろ5分間かかるといって来たため入院することになりました。

9月14日早朝、康乃先生に「痛みが10分間かかるとか長くなったら思いきって寝ちゃってね。また起きたとき強くなるから」とアドバイス。主人と寝て待つ。ただ定期的にかかる痛みの恐怖にあまり眠れず、食欲もありませんでした。お昼になっても食欲はなくなり食べられない時間が続きました。この時子宮口は7cm。あと3cmだ。全開大になんば...と淡い期待を持ちます。

しかし、陣痛は一向の間かかるとは一向に縮まらず5分間かかるとなり、主人の提案でお散歩を試みることに。駅まで歩きましたが、いつもは積極的な私が、息をもらし、陣痛が恐く、ビクビクしていました。この痛み、昔みはいつ終わるだろう、ツイ、ツイと弱身になっていました。そんなとき、赤ちゃん心音はしても元気、先生も笑顔で「大丈夫、元気よ」と教えてくれます。

これではいけない!! 赤ちゃんは弱者もはかず、一番がんばっているじゃないか! ここで私たちに会うために、10ヶ月つぎあつてくれた。お母さん(私)の望みどおりこの場所で会おうと決まると、一生けん命出てこようとしているんだ。お母さんである私がこんなではいけない! がんばらなっちゃ。

駅まで往復し帰ってくるまでとあたたかいものを感じ石炭水。内診をして頂くと、少し残っているけど、やわらかいのでいってもいいということ陣痛に合わせていきます。

でも、相変わらず、陣痛はあまり強くなりませんが長丁場。

私には進んでいるのか進んでないのか分からない状況でも、
30分から1時間に一度の赤ちゃんの心音チェックは、毎回とても
元気。それだけを頼りに陣痛を待ちます。

辺りはまた真の暗闇に... 康乃先生が「やはり予定日通り
15日になる身がある。満月の15日。15日に産まれてきたいのね
この子は😊」とあやめる。そいかあ、赤ちゃんのハズがあまらたか。
ゆっ、ゆっ、ゆっ、進んでる。だけど心音はいい。私も体はハハハ
だけでまたがんばる。

日付が変わってまだ15日!! がんばろう。先生、402人に
足をすわってもらいながら必死でいきま。主人も汗をかくてくれたり
「もうかれもうかれ、がんばって」と励めてくれる。

康乃先生が「痛いって言う、いいのよ」「強い陣痛のときイキめばいい
わよ」「こっちの方向よ」と誘導して下さる。体位を変えて四つんばい
になり、ググッといきま。股に熱いものを感じ、もう一度強
いキレたとき、赤ちゃんと誕生!! 足の間を先生が赤ちゃんを渡してくれ
抱きかかるとそこには、あたたかい大きな赤ちゃんと一生けん命泣いて
いました。

分娩室で7.5時間。先生も「いや〜難産でした😊」と笑顔
であらわしていました。でも先生の確かで優しい誘導と、励し。
心音チェックがあったからこき、11.5時間がかかっても、
牛は、不安を感じず、赤ちゃんを産むことだけに集中できました。

長い間、ありがとうございました。牛さん、主人の助けも本当に
心強かったです。

赤ちゃんへ「長い間、あつかひさま。よくがんばって来てくれたね。
お父さんもお母さんもあなたに会えてうれしいよ。
幸せだよ。これからよろしくね」

K.W

「お産はどこでするのがよいのたううか?」 母子ともに健康であれば自然なお産ので王子中嶋助産院が最善であると自信を持って言う。

初めて妻から助産院で産みたいと聞いたときは妊娠前であった。医療設備の整った大きな病院でのお産が当然と思っていた当時の私に助産院は選択肢になかった。

その後、中嶋助産院を妻と二人で見学させていただき、康乃先生からお話を聞くとともに「うぶごえん」でお借りした本を読み進むにつれて、 unnecessary 医療介入の多い助産院でのお産に魅力を感じた。

生命を授かり助産院で産むことを決めたら、お産が待ち遠しく安産を願って時間を見つけては散歩に出かけ体をづりに励んだ。

やるべきことはやったとの気持ちでお産をむかえることができたお産に立ち会う。夫として重要なのは側について安心感を与え続けることだと思う。妻が生まれてくる赤ちゃん、そして、康乃先生、千日さんを信じて、お産が長びいたり、出血があったり陣痛で叫んでいる妻を見て、動揺せず、励まし、じつじつと待つ勇気が大切ではないかと思う。

無事に生まれ、二人が穏やかに過ごすプライベートな環境も居心地がよく感じられ、満ち足りた時間を過ごすことができた。

康乃先生、千日さん ありがとうございます。ございました。

和田山

最後に.

今回、テレビの取材のお話を頂き、少し緊張しましたが(笑)
 私のように子宮口全開まで、すごい時間がかかり、
 排胎から5時間かかった回旋異常のお産でも
 母体と赤ちゃんが元気であれば、時間はかかるけれど自然に
 産めて、まわりの介助の方のお世話でパニックにはならず
 ただ自分の身体と赤ちゃんにだけ向きあえるすばらしいお産が
 出来るのだと実感しました。

その部分をカメラで撮っていたのは、私自身、とても
 有意義で、幸せでした。

また、これから姉妹、出産する女性の方へ向け、強い
 メッセージになるかと思えます。、すばらしい経験を生かして
 頂きありがとうございます。

これから新しい家族との生活を一日一日大事に過ごして
 いると思います。また2人目を授かたときはどうぞよろしく
 お願いいたします。

康乃先生、ありがとうございます。軽騎で11ヶ月も、私と3
 姉妹共の(私はもう3ヶ月)赤ちゃんを
 とりあてて下さい。

千ヨさん、お産、介助やおいしいお料理、おけいこのとき、
 楽しいおしゃべり、ありがとうございます。矢玉と弟のこで
 てこれからがんばって下さい。

2008. 9. 18 下郷町

和岡山